

基礎分野 13科目 13単位 (360時間)

看護の対象である人間、生命、人間を取り巻く環境に関する理解を深め、物事の本質を洞察し、倫理的な判断に基づき生活上の問題を解決できる力を養う。そして個人および家族も含めた個人の所属する集団の特性を理解し、人間のよりよいあり方を追求する姿勢を養う。

科学的思考の基盤

科目名	哲学 Phylosophy		講師名・ 実務経験	豊岡 めぐみ・哲学者
講義時期	3年通年	講義時期	15回	単位・時間数
		講義方法	講義	
試験予定	3年次10～11月			
評価方法	レポート及び出席、授業参加度を総合的に評価する。60点以上を合格とする			
参考書	なし			
講義のねらい	看護は人間関係を基盤としており、また人の生死に関わるものである。常に人とは、看護とは、と自分の考えを追求していくための哲学的思考を学ぶ。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人の存在、人はいかに生きるべきかという問いを根底にもちながら、ものの本質、真実性の知を愛し求めていくことにより、自身のあり方を考える姿勢を身につける。 2. 価値観・人生観・死生観・看護観を追及する思考を習慣化できる。 			
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 哲学とは何か-物の本質とは何か? 2. 生命倫理の諸問題-脳死と臓器移植、クローン、人口妊娠中絶、多胎妊娠 3. 功利主義-われわれは何を選択すべきか? (行為における選択) 4. 人間とは何か-わたしは何者か? 自分のことであるにもかかわらず、つきつめていくとわたしは一体何者なのかわからなくなるはずである。その理由を解明しながら、わたしについて、また他者について議論する。最終的に人間とはいかなるものかを総合的に吟味する。 5. 私と患者-患者との関係を考えてみよう 6. 精神と身体-西洋的なものの見方と東洋的なものの見方の差異について 7. 愛について-恋愛を哲学的に考える 8. 生と死-映画鑑賞をしながら安楽死問題を考える 9. 雑誌分析-雑誌はどのようにつくられるのか? 雑誌、テレビ、ラジオなどメディアの意図とイデオロギーについて考える 			
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1回目 イントロダクション:「哲学する」とはどのようなことか 2回目 本質について考察する(ソクラテスの思想を解説) 3回目 「知る」とはどのようなことか(プラトンの思想を解説) 4回目 人間のあり方について(プラトン哲学をモデルとして考察) 5回目 行為における真とは何かについて(アリストテレス哲学をモデルとして考察) 6回目 先入観と日常について(映画マトリックスをモデルとして考察) 7回目 健康と障がいについて 8回目 幸せについて(エピクロスの思想を中心に) 9回目 自由について(ストア派の思想を中心に) 10回目 安楽死について、欲望について 11回目 心と身体について 12回目 行為における「正しさ」について 13回目 功利主義について(1) 14回目 功利主義について(2)(快樂計算について考察) 15回目 イデオロギーについて 			

基礎分野 科学的思考の基盤

科目名	文章表現法 Writing Method		講師名・ 実務経験	鎌倉 芳信・国語教諭
講義時期	2年後期	講義時期	15回	単位・時間数
		講義方法	講義	
試験予定	2年次12月～1月			
評価方法	筆記試験(100%)。60点以上を合格とする			
参考書	日本語表現&コミュニケーション ～社会を生きるための21ワーク～(実教出版)			
講義のねらい	看護の質の維持向上において、自己の考えを文章化する能力は非常に重要になる。基本的な読むこと、書くことの技術を学ぶ。そこから、論理的な思考の上に成り立つ文章構成能力を養う。			
学習目標	1. 具体的・実践的な文章作成について学び、論理的かつ正確な文章を書くことができる。 2. 言語を正しく理解し使用することが、他者との人間関係の構築に不可欠であることを理解できる。			
講義概要	1.基本的な文章表現力を身につける 1) 適切な漢字、ひらがなの使い方 2) 効果的な句読点の使い方 3) 和語・漢語・外来語の使い分け 4) 話し言葉と書く言葉 5) さまざまな表現(慣用句、ことわざ) 6) 敬語の使い方 7) 手紙の書き方 8) わかりやすく伝えるための理論や方法			
講義内容	1回目	日本語の特徴		
	2回目	句読点の働きを知る		
	3回目	漢語、和語、カタカナ語の使い分け		
	4回目	語彙について		
	5回目	適切な表現について		
	6回目	文の係り受けについて		
	7回目	文の推敲		
	8回目	慣用的表現の方法		
	9回目	文章のレトリック		
	10回目	話し言葉と書き言葉		
	11回目	効果的な書き言葉		
	12回目	文の長さについて		
	13回目	手紙文の書き方		
	14回目	描写の方法		
	15回目	アカデミック・ライティング		

基礎分野 科学的思考の基盤

科目名	情報科学 Informasion Science		講師名・ 実務経験	徳永 治久・情報管理室課長
講義時期	1年通年	講義時期	15回	単位・時間数
		講義方法	講義・演習	
試験予定	1年次12月			
評価方法	課題に対するパソコンを使用した実技試験(100%)。60点以上を合格とする			
参考書	現代教育学入門(勁草書房)			
講義のねらい	情報科学の基礎理論やコンピュータに関する基礎的知識を理解し、高度情報化社会の医療、看護に対応できる力を養う。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. パソコンの基本的な操作ができる。 2. Word、Excel、PowerPointの操作ができる。 3. インターネットを活用し、必要な情報を得ることができる。 4. 情報の取り扱い方や統計学的処理方法の基礎を理解できる。 5. 医療現場におけるコンピューター導入の変遷と情報の管理、倫理について理解できる。 			
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. パソコンの基礎知識 起動の仕方 ゲームを通してマウスに慣れる 2. ワープロの基礎 Windows word使用 文書作成・保存・印刷・罫線や図の挿入 3. 文書の印刷 4. 表計算(関数・罫線処理) 5. パワーポイントの活用・作成方法 6. 医療現場で使用されるコンピュータシステムの基礎知識 <ol style="list-style-type: none"> 1) 歴史・システムの種類と特徴 2) 看護業務とコンピュータ 7. 業務でのコンピュータ使用時の注意点 <ol style="list-style-type: none"> 1) 情報の活用 2) インターネットの活用 3) 電子メールの活用 <p>*6, 7に関しては、単位認定を受けた学生も聴講してください。 具体的な聴講の方法については、授業開始後連絡します。</p>			
講義内容	1回目	パソコンの基礎知識		
	2回目	パソコンの基礎知識、インターネットの基礎知識		
	3回目	病院での情報システム①(歴史、厚生、仕組み)		
	4回目	病院での情報システム②(看護システム、個人情報、実習)		
	5回目	ワープロ(ワード)実習①基礎		
	6回目	ワープロ(ワード)実習②基礎		
	7回目	ワープロ(ワード)実習③文章作成の1		
	8回目	ワープロ(ワード)実習④文章作成の2		
	9回目	プレゼンテーション(パワーポイント)実習		
	10回目	表計算(エクセル)実習①基本		
	11回目	表計算(エクセル)実習②基本		
	12回目	表計算(エクセル)実習③応用		
	13回目	表計算(エクセル)実習④応用		
	14回目	表計算(エクセル)実習⑤応用		
	15回目	試験		

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	心理学 Psychology		講師名・ 実務経験	山田 文・臨床心理士
講義時期	1年前期	講義時期 8回		
		講義方法	講義	単位・時間数
試験方法	1年次7月			
評価方法	レポート及び出席、授業参加度を総合的に評価する(100%)。60点以上を合格とする			
参考書	なし			
講義のねらい	医療・看護の場で人との関わりを持つ際には、人の心や行動について理解することが求められる。本講義は、心理学の知見を学ぶことを通して、人の心と行動、および自分自身の心についての理解を深める事を目的とする。			
学習目標	1. 医療・看護の対象である人間の心について理解を深める。 2. 心の仕組みとはたらき、心の発達、心の適応に関する心理学の基礎的な知見を理解する。			
講義概要	1.感覚と知覚の心理 2.記憶の心理 3.学習の心理 4.発達心理 5.人格の心理 6.適応の心理 7.医療と心理学			
講義内容	1回目 認知心理学、心理学の歴史 2回目 記憶の心理学、認知心理学の応用 3回目 学習心理学 4回目 発達心理学 5回目 人格心理学、臨床心理学 6回目 臨床心理学、コミュニティ心理学 7回目 看護と心理学 8回目 試験(レポート)			

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	人間関係論 Social Psychology		講師名・ 実務経験	栗田 七重・臨床心理士																														
講義時期	2年通年	講義時期 15回																																
		講義方法 講義・演習	単位・時間数	1単位(30)																														
試験予定	2年次12月																																	
評価方法	レポート及び出席、授業参加度を総合的に評価する(100%)。60点以上を合格とする																																	
参考書	なし																																	
講義のねらい	看護は人間関係を基盤とする。看護のみならず日常の人間関係において、この科目で学んだ内容が活かせることをねらいとする。																																	
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の存在が他者の存在と無関係に成り立つものでないことを理解できる。 2. 人間関係の基礎や看護における人間関係について理解できる。 3. 看護者としてのカウンセリングの意義、役割について学ぶ。 																																	
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間存在と人間関係 2. コミュニケーションとは 3. 人間理解に関する研究と応用 <ol style="list-style-type: none"> ①社会心理学的研究 ②集団の中での行動パターン 4. カウンセリング 5. 保健医療チームの人間関係 <ol style="list-style-type: none"> ①保健医療チームの特徴 ②チームワークを促進する要因と阻害する要因 6. 闘病生活を支える人間関係 <p>◎講義の合間に、自己・他者理解を深めるようなワークを取り入れていく予定です。</p> 																																	
講義内容	<table border="0"> <tr><td>1回目</td><td>イントロダクション 人間関係論とは</td></tr> <tr><td>2回目</td><td>ストレスとストレスマネジメント</td></tr> <tr><td>3回目</td><td>ストレス-2、質問をする、親密性</td></tr> <tr><td>4回目</td><td>ストレス-3、知覚・認知心理学</td></tr> <tr><td>5回目</td><td>知覚・認知心理学2、セルフケア</td></tr> <tr><td>6回目</td><td>認知心理学3、自己と他者の理解・偏見</td></tr> <tr><td>7回目</td><td>自己と他者の理解の枠組みⅢ、意識</td></tr> <tr><td>8回目</td><td>意識のつづき、“欲求”の理解&社会心理学①</td></tr> <tr><td>9回目</td><td>“欲求”の理解&社会心理学②</td></tr> <tr><td>10回目</td><td>社会心理学③ 状況の持つ力</td></tr> <tr><td>11回目</td><td>社会心理学④ 集団による意思決定、ポジティブ心理学、チームワーク</td></tr> <tr><td>12回目</td><td>ポジティブ心理学4、コミュニケーションカウンセリング①</td></tr> <tr><td>13回目</td><td>コミュニケーション&カウンセリング② アサーション</td></tr> <tr><td>14回目</td><td>闘病生活を支える人間関係①</td></tr> <tr><td>15回目</td><td>闘病生活を支える人間関係②</td></tr> </table>				1回目	イントロダクション 人間関係論とは	2回目	ストレスとストレスマネジメント	3回目	ストレス-2、質問をする、親密性	4回目	ストレス-3、知覚・認知心理学	5回目	知覚・認知心理学2、セルフケア	6回目	認知心理学3、自己と他者の理解・偏見	7回目	自己と他者の理解の枠組みⅢ、意識	8回目	意識のつづき、“欲求”の理解&社会心理学①	9回目	“欲求”の理解&社会心理学②	10回目	社会心理学③ 状況の持つ力	11回目	社会心理学④ 集団による意思決定、ポジティブ心理学、チームワーク	12回目	ポジティブ心理学4、コミュニケーションカウンセリング①	13回目	コミュニケーション&カウンセリング② アサーション	14回目	闘病生活を支える人間関係①	15回目	闘病生活を支える人間関係②
1回目	イントロダクション 人間関係論とは																																	
2回目	ストレスとストレスマネジメント																																	
3回目	ストレス-2、質問をする、親密性																																	
4回目	ストレス-3、知覚・認知心理学																																	
5回目	知覚・認知心理学2、セルフケア																																	
6回目	認知心理学3、自己と他者の理解・偏見																																	
7回目	自己と他者の理解の枠組みⅢ、意識																																	
8回目	意識のつづき、“欲求”の理解&社会心理学①																																	
9回目	“欲求”の理解&社会心理学②																																	
10回目	社会心理学③ 状況の持つ力																																	
11回目	社会心理学④ 集団による意思決定、ポジティブ心理学、チームワーク																																	
12回目	ポジティブ心理学4、コミュニケーションカウンセリング①																																	
13回目	コミュニケーション&カウンセリング② アサーション																																	
14回目	闘病生活を支える人間関係①																																	
15回目	闘病生活を支える人間関係②																																	

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	教育学 Pedagogy			講師名・ 実務経験	小澤 周三・元大学教授
講義時期	1年後期	講義時期	15回目		
		講義方法	講義	単位・時間数	1単位(30)
試験方法	1年次9月				
評価方法	レポート及び出席、授業参加度を総合的に評価する(100%)。60点以上を合格とする				
参考書	現代教育学入門(勁草書房)				
講義のねらい	人間にとっての教育の意義を理解し、看護の専門職者として日々学び続けることの重要性を認識できるようにする。また、教育学習心理や一般的な教育方法を学ぶことで、看護における指導技術が更に科学的根拠の上に展開できる素地を養う。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の原理が理解できる。 2. 人間形成における教育の意義や、社会の変化の中で果たすべき教育の役割・機能について理解できる。 3. 学習心理を踏まえた教育方法を理解し、看護の対象への効果的な指導技術の基礎的知識を身につけることができる。 				
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護と教育 2. 教育の基本構造 3. 人間理解 4. 医療者の教化と形成 5. 教育の思想について 6. 看護倫理と法律について 7. 教育の社会的基礎(発達課題、発達達成に関わる諸問題、遊びのもつ意義) 8. 児童虐待 9. アントロポソフィア医学 10. 学校教育法について 				
講義内容	1回目	教育の意義、グローバリゼーションと教育(文化伝承、革新性、生涯、世代間、選択的受容等)			
	2回目	教育の基本構造			
	3回目	教育と看護(VTR看護は心の対話)			
	4回目	教育思想(古代ギリシア)			
	5回目	教育思想(古代ギリシア)VTR使用			
	6回目	古代ローマ、中世ヨーロッパ、ルネッサンスの教育思想			
	7回目	自然主義(コメニウス、ルソー、ペスタロッチ)、国民教育、新教育(ジョン、デューイ等)の教育思想			
	8回目	新教育・新学校の教育思想、			
	9回目	障害児の教育(ジョン、デューイ、セシルレディ、ドラモン、ヘルマンルーツ)			
	10回目	宗教改革期の教育思想			
	11回目	近世ヨーロッパの教育思想			
	12回目	近代英・米の教育思想			
	13回目	教育制度概説(看護師による教育を含む)			
	14回目	今日の教育(リカレント教育、ヴァウチャーを含む)			
	15回目	課題レポート作成			
		※ ビデオを通して考える時間があります。 講義時間の中でレポートを作成することがあります。			

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	社会学 Sociology		講師名・ 実務経験	成田 恭隆・社会学者
講義時期	3年通年	講義時期	15回	単位・時間数
		講義方法	講義	
試験予定	3年次11月			
評価方法	レポート及び出席、授業参加度を総合的に評価する(100%)。60点以上を合格とする			
参考書	永井 良和編 基礎社会学 第4版 世界思想社			
講義のねらい	社会に起こっている事象に対し興味・関心を抱き、様々な角度から考える素地とする。			
学習目標	<p>1. 人間の社会構造や、社会的な人間行動、家族の機能・構造、高齢化という現象を統合的に分析し理解する姿勢を養うことができる。</p> <p>2. 人間と社会との相互関係を理解し、起こっている現象をありのままに見つめる社会的な視点を身につけることができる。</p>			
講義概要	<p>1. 社会学とは、社会事象と社会学</p> <p>2. 集団の発生について</p> <p>3. 社会集団と組織集団について</p> <p>4. 家族について 家族の社会学的定義</p> <p>5. 都市について 地域社会について</p> <p>6. 生活の中の「労働」</p> <p>7. 社会福祉と社会</p>			
講義内容	<p>1回目 社会学への招待</p> <p>2回目 社会学の発想</p> <p>3回目 社会学基本概念 I</p> <p>4回目 社会学基本概念 II</p> <p>5回目 変貌する家族 I</p> <p>6回目 変貌する家族 II 都市空間 I</p> <p>7回目 都市空間 II</p> <p>8回目 社会病理</p> <p>9回目 社会と環境</p> <p>10回目 高齢化社会と福祉 I</p> <p>11回目 高齢化社会と福祉 II 障害者、差別、社会の共生について</p> <p>12回目 共生社会、差別、ジェンダー風俗</p> <p>13回目 国際社会の移動と国境を越えての社会的共生について</p> <p>14回目 近代民主主義の限界、公共国－新しい民主主義</p> <p>15回目 試験</p>			

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	生物学 Biology		講師名・ 実務経験	神田 尚俊・医学博士
講義時期	1年次前期	講義時期 15回		
		講義方法 講義	単位・時間数	1単位(30)
試験予定	1年次9月			
評価方法	小テスト(10%)、課題評価(10%)、筆記試験80%。60点以上を合格とする。			
参考書	系統看護学講座「生物学」(医学書院)			
講義のねらい	生物界には進化によって誕生した多様な生物種が存在し、ヒトを含めてその基本的構造や機能には共通点があり、一部の生物はヒトの病気の原因となる。この授業では生物の細胞の基本的構造と機能で学び、生命の仕組みを理解する。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞の基本構造とその集合体である固体の構造と機能を理解する。 2. 遺伝子の機能と遺伝の仕組みを理解する。 3. 遺伝子レベルでみた生命の進化とその意味について理解する。 4. 受精卵が細胞分裂により固体を形成する発生過程を理解する。 5. 個体内部の恒常性構造と調節の仕組みを理解する。 6. 神経系やホルモンを介した刺激の情報伝達の仕組みを理解する。 			
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生物学で何を学ぶか 2. 生命の誕生とその進化 3. 細胞の進化とその構造と機能 4. 脊椎動物の体の構造とその機能 5. 生殖と発生: 有性生殖と無性生殖、個体発生 6. 細胞分裂: 体細胞分裂と減数分裂、染色体と染色体異常 7. 遺伝と遺伝子 ①メンデルの遺伝法則、遺伝情報 8. 遺伝と遺伝子 ②突然変異、分子遺伝学と遺伝病 9. 分子生物学: その手法と成果(生命が分子レベルでどこまで明らかになったか) 10. 個体の調節 ①消化器、循環器、免疫系 11. 個体の調整 ②排泄器官、ホメオスタシスを維持する器官 12. 刺激の伝達と行動 ①刺激の種類と受容器 13. 刺激の伝達と行動 ②神経系と効果音、行動 14. 生物と環境: 環境変化と生物、地球環境とその未来 			
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1回目 生命とは何か 生物と人の関係 2回目 細胞の構造と機能(1)細胞膜 3回目 細胞の構造と機能(2)細胞小器官 4回目 生体維持のエネルギー 5回目 細胞分裂: 体細胞分裂と減数分裂 6回目 遺伝の仕組み(メンデルの法則 他) 7回目 ゲノムと遺伝子 8回目 染色体と遺伝子の異常・遺伝子操作 9回目 発生と分化 10回目 個体の調節①(呼吸・消化・循環) 11回目 個体の調節②(排泄・神経系) 12回目 個体の調節③(感覚器) 13回目 個体の調節④(免疫とウイルス) 14回目 生物と環境①(地球環境の変化と生物)②(ヒトと生物生態系の関係) 15回目 試験 			

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	外国語 I (基礎英語) English I (General English)		講師名・ 実務経験	丸山 理佳子・通訳業
講義時期	1年前期	講義時期	15回	単位・時間数
		講義方法	講義	
試験予定	1年次12月			
評価方法	筆記試験(100%)、60点以上を合格とする			
参考書	現場ですぐに役立つ！実践メディカル英会話(メディカ出版)			
講義のねらい	社会や看護の国際化に対応するための基本的な英語力を、身近な英語を通して身につける。			
学習目標	1. 基礎的な英語文献を読むことができる。□ 2. 英語の基礎力を伸ばす。			
講義概要	日常生活や日常会話を中心としたテキストを用いて英文和訳、reading			
講義内容	1回目 総合案内で使える英会話 2回目 受付で使える英会話① (人、職名、書類) 3回目 受付で使える英会話② (健康保険証の確認、医療費の払い戻しの説明) 4回目 現病歴聴取のための英会話① (身体各部の名称、代表的な症状の尋ね方) 5回目 現病歴聴取のための英会話② (症状の尋ね方、現病歴の尋ね方) 6回目 健康歴聴取のための英会話 (健康歴の尋ね方、主な病名) 7回目 診察室で使える英会話 (診察室・処置室の指示表現、医療機器と用品) 8回目 検査で使える英会話① (尿検査、体温測定の説明) 9回目 検査で使える英会話② (X線検査の説明、病院内の施設、病院内での迷子) 10回目 手続きで使える英会話① (次回受診日の確認、入院の手続き) 11回目 会計で使える英会話 (診療費の伝え方) 12回目 薬の説明、投薬時に使える英会話① (内服薬・外用薬の説明) 13回目 薬の説明、投薬時に使える英会話② (副作用の説明、薬に関する会話) 14回目 一般的な英会話 (訪問時の会話、電話対応、道案内) 15回目 試験			

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	外国語Ⅱ(医学英語) EnglishⅡ(Medical Terminology)		講師名・ 実務経験	溝尾 朗・医師
講義時期	2年通年	講義時期	15回	単位・時間数
		講義方法	講義	
試験予定	2年次12月			
評価方法	筆記試験(100%)。60点以上を合格とする			
参考書	Medical English Clinic (センゲージラーニング株式会社)			
講義のねらい	社会や看護の国際化に対応するために、基礎的英語に加え、医学・看護英語能力を身につけ、実習において活用できることをねらいとする。			
学習目標	1. 身体表現、疾患に関する単語・薬・検査など医療に関する英単語を理解できる。 2. 医学所見、診断、治療に関する英単語、略語を理解できる。			
講義概要	1. カルテに記載される英単語・略語 代表的な疾患名、症状に関連した英単語・略語 2. 医療英語を中心としたテキストを用いて英文和訳、reading			
講義内容	1回目 コロナ感染症 2回目 JCHOについて 3回目 タシフルについて、シンガポールについて 4回目 タバコの害について 5回目 性感染症について 6回目 災害時の感染症について 7回目 OTCについて 8回目 在宅医療について 9回目 食事療法、東南アジアの医療事情 10回目 遠隔医療について 11回目 インド、インドネシア医療事情 12回目 インフルエンザ、感染症、胃腸炎について 13回目 地域包括ケアシステムについて 14回目 狂犬病、COVID-19について 15回目 試験 ※ 小テストをすることがあります。			

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	外国語Ⅲ(看護英語) EnglishⅢ(Nursing Terminology)		講師名・ 実務経験	芳賀 左代子・通訳業
講義時期	3年通年	講義時期	15回	単位・時間数
		講義方法	講義	
試験予定	3年次11月			
評価方法	筆記試験(100%)。60点以上を合格とする			
参考書	系統看護学講座 臨床看護英語 第5版 (医学書院)			
講義のねらい	<p>1. 専門領域の医学、看護の外国文献を読むことで、海外の医療情勢にも興味をもつことができ、常に最新の情報を得ようとする姿勢を養う。</p> <p>2. 看護のあらゆる状況に応じた会話の実際を学び、看護に関する英会話能力を身につけ、国際化する医療に積極的に参画できる力を養う。</p>			
学習目標	<p>1. 看護英会話に必要な専門語彙や表現を理解できる。</p> <p>2. 想定した、患者へ主訴や症状を尋ねることができる。</p> <p>3. 患者と対話ができる看護英語を修得できる。</p>			
講義概要	回数・プログラム	宿題	5分間練習	
	<p>1. オリエンテーション/how to prevent infection.</p> <p>2. Phonics/発音記号/発音記号の読み方</p> <p>3. 看護英単語/発話練習/Parts of the body.</p> <p>4. 発話練習/看護英単語/Personal History.</p> <p>5. 看護英会話/Vital Sign and Physical Exam/Test(検査)</p> <p>6. 看護英会話/Pains,英文解釈/痛み</p> <p>7. 英文解釈/リハビリテーション(身体で学ぶ英語)</p> <p>8. 英文解釈/Sudden Infant Death Syndrome/ SIDS(乳児突然死症候群)</p> <p>9. 英文解釈/Breast Cancer(乳がん)</p> <p>10.英文解釈/Osteoporosis(骨粗しょう症)</p> <p>11.英文解釈/Life-Style Related Disease(生活習慣病)</p> <p>12.英文解釈/Depression(うつ病)</p> <p>13.英文解釈/総復習</p> <p>14.HALLOWEEN/Tea Party : Alice in the wonderland.</p>	<p>発話練習</p> <p>単語暗記</p> <p>センテンス暗記</p> <p>英文訳/理解 医学英語暗記</p>	<p>発話練習</p> <p>単語暗唱/チェック</p> <p>会話暗唱/チェック</p> <p>読解力/チェック</p>	
講義内容	<p>1回目 Personal History / Admission 履歴/申し込み□</p> <p>2回目 Checking in / Clinical Department 診療手続き/診察料</p> <p>3回目 Exercise / clinical department 練習問題/診察料</p> <p>4回目 Part of the body / Prevention / How to wash hand and put mask 体の部位/予防</p> <p>5回目 Introduce yourselves / English Grammer 自己紹介/英文法</p> <p>6回目 COVID-19:Symptoms Prevestion</p> <p>7回目 COVID-19:Symptoms / Emergncy Medical attention / Clinical history</p> <p>8回目 COVID-19:How to spread / Virus / Infections コロナウイルス感染経路</p> <p>9回目 Hoew to take vital sings-test / History talking-Clinical response バイタルサイン・病歴</p> <p>10回目 Noro Virus ウィルスは変化するから強い・ノロウイルス</p> <p>11回目 Review 復習</p> <p>12回目 Review 復習・テスト対策</p> <p>13回目 Review 21～、試験対策</p> <p>14回目 Tea Party ! Would you like some tea?</p> <p>15回目 試験</p>			

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	保健体育 Health and Physical Education		講師名・ 実務経験	今野 廣隆・元大学教授	
講義時期	1年前期	講義時期	15回	単位・時間数	1単位(30)
		講義方法	実技		
試験予定	1年次12月				
評価方法	出席状況、授業参加状況を総合的に評価する(100%)。60点以上を合格				
参考書	なし				
講義のねらい	スポーツを通して健康の維持増進ができる。また、協調性を養い、心身の安定を目指すことをねらいとする。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の基礎体力を知る。□ 2. スポーツを通して仲間との協力を図り、集団での規律ある行動がとれる。 3. 健康への意識を高めることができる。 				
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 体力測定 2. ストレッチ、マラソン、ウォーキング 3. バレーボール、ユニホック、バトミントン、卓球 				
講義内容	<p>1回目 ガイダンス(健康チェック、ストレッチング、ウォーミングアップ)</p> <p>2回目 体力テスト、判定、ストレッチング体操</p> <p>3回目 ストレッチング、ウォーキング</p> <p>4・5回目 皇居5km全員完走</p> <p>6回目 ストレッチング、縄跳び、ユニホック</p> <p>7回目 ストレッチング、縄跳び、ユニホック</p> <p>8回目 各班でストレッチング、ユニホック</p> <p>9回目 ユニホック</p> <p>10回目 卓球、ルール説明、ゲームの進め方</p> <p>11回目 卓球、ダブルゲーム</p> <p>12回目 テーブルテニス、ダブルゲーム・リーグ戦</p> <p>13回目 ウォーキング</p> <p>14回目 卓球、シングルダブル・リーグ戦</p> <p>15回目 卓球、ダブルゲーム</p> <p>※ 運動ができる服装、履物が必要です。</p>				

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	音楽 Music		講師名・ 実務経験	丸山 ゆかり・ピアニスト
講義時期	1年通年	講義時期		
		講義方法	講義・実技	単位・時間数
試験予定	1年次2月			
評価方法	授業参加状況により評価する(100%)。60点以上を合格とする			
参考書	なし			
講義のねらい	音楽を通して、豊かな感性、協調性を養う。			
学習目標	1. 実習でレクリエーション活動、学校行事等で音楽を活用できる。			
講義概要	1. 校歌、合唱 2. ハンドベル、リズムワーク等			
講義内容	<p>1回目 授業内容説明(音取り、歌詞説明①)</p> <p>2回目 校歌、信仰(音取り、歌詞説明②)</p> <p>3回目 パート決め(音取り、歌詞説明③ etc.)</p> <p>4回目 パート別音取り、6/8リズム</p> <p>5回目 思い出し、全曲、etc.</p> <p>6回目 パート別練習、テキスト書き出し(山場)</p> <p>7回目 パート別 どこが特に難しいか、etc.</p> <p>8回目 難所抜き出し、練習、etc.</p> <p>9回目 まとめ</p> <p>10回目 復習(暗譜)</p> <p>11回目 戴帽式用まとめ</p> <p>12回目 唱歌(高齢者対応)、復習</p> <p>13回目 唱歌etc.(高齢者対応)、音楽の三要素とプラスアルファ</p> <p>14回目 3学年合同、1年生ペーパーテスト</p> <p>15回目 1・3年合同、まとめ</p> <p>※ 1回の講義時間は1/2コマ(45分間)です。場所は4階講堂です。 卒業式前は、数回他学年と合同で授業を行います。</p>			